

みなさん、こんにちは。毎日少しずつ暖かくなってきていますね。いつの間にか春が訪れているようです。

暖かくなるのは大変嬉しいのですが、この時期は花粉症でお悩みの方も多いのではないのでしょうか？今、まさにスギ花粉がピークを迎え、徐々にヒノキ花粉に移行してくる時期だそうです。四月上旬頃まで非常に多く花粉が飛散するようなので、花粉症の方は対策をお忘れなく。お大事になさってください。

## 口腔内写真・顔貌写真の重要性

当院では通常、初めて受診される患者様には顔貌写真と口腔内写真を数枚撮影させていただいています。今回はその理由・重要性についてご紹介します。

### 口腔内写真

口の中全体の診断をします。

たとえ1本の歯のみが悪くなったとしても、全体のかみ合わせが原因になっていたり、また、他の歯に影響が出ていたりするかもしれません。

口腔内を一見ただけではなかなか見えてこないものも、後で写真をじっくりと診ることで多くの情報が得られます。

我々は診療時間外に、すべての患者様の今後の治療計画を立てます。そのためにはレントゲン写真や口腔内写真は必須です。

### 顔貌写真

「どうして顔の写真を撮るのですか？」

このように聞かれる患者様も20人に1人くらいおられます。

答えは…「きちんとした診断をして治療をするために必要だから」です。

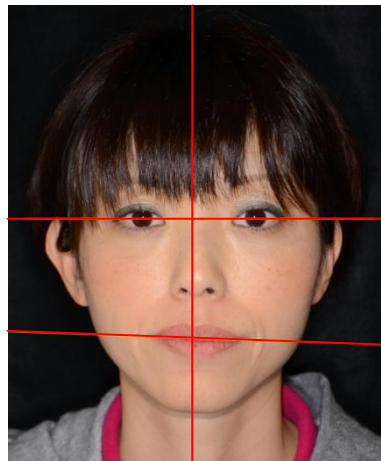
正面からの写真により、顎のゆがみやかみ合わせの高さの異常などがわかります。

また、側方からの写真により、歯の見え具合や歯の中心の正常・異常、上下骨格のバランスや骨格のタイプ、前歯の出具合（上が出ている・下が出ている）などがわかります。

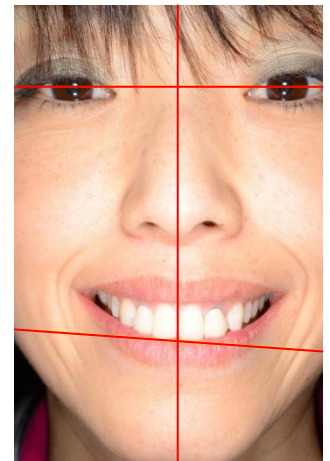
### なぜ診断なのか

診断するうえで大切なこと…それはいわゆる「木を見て森を見ず」ということばのようにならないことです。

まず全体を診て、徐々に細かいところに目をうつしていきます。当院では、このような治療コンセプトを持って治療を行っています。



正面からの顔貌写真です。口を閉じた状態で、少しですが左の口角が下がっているのがわかります。



Smile (笑った状態) です。歯並びが少し左下がりなのがわかります。

## 出会いと別れの季節です

春といえば卒業・入学・異動などで、親しい人や慣れ親しんだ土地との別れ、また新たな出会いを経験される方も多い季節ですね。

当院でもこの春、受付の黒瀬彩菜が、秋に結婚を控え退職することとなりました。約2年の間、当院の顔である受付で頑張ってくれました。

淋しくなりますが、彼女の幸せを願って笑顔で送り出そうと思います。

嬉しいニュースもあります。以前アルバイトに来てくれていた平田絵里香が衛生士学校を無事卒業し、当院の正社員として働いてくれることになりました。みなさんのお役に立てる一人前の衛生士に育てますので、どうぞよろしくお願いたします。

